

目次

□巻頭言

大規模工業基地……………柴崎 芳 三 / 1

□騒音・振動の防止に留意した施工例

山陽新幹線六甲トンネル工事の施工例……………峯 本 守 / 2

首都高速道路6号線, 7号線の施工例……………松 吉 輝 夫 / 11

□誌上パネルディスカッション

建設工事における騒音防止とその将来への展望…………… / 15

グラビヤー公害防止基礎ぐい工法の現況

□昭和 45 年度官公庁の事業概要

I. 建設省事業の概要……………坂 口 寿 / 31

II. 日本道路公団の事業概要……………小 西 康 夫 / 36

III. 首都高速道路公団の事業概要……………有 馬 昭 夫 / 42

IV. 阪神高速道路公団の事業計画……………北 村 正 也 / 47

V. 日本住宅公団宅地開発事業の概要……………山 田 専 一 / 51

VI. 水資源開発公団の事業概要……………八 木 直 樹 / 54

VII. 農林省農地局関係予算の概要……………松 井 芳 明 / 59

VIII. 農地開発機械公団の事業概要……………郡 湜 / 64

□随 想

大学紛争ノート二つ……………河 上 房 義 / 68

Construction Methods & Equipment より

未来の都市建設, 宇宙開発, 海洋開発等……………調査部会 / 70
文献調査委員会

□建設機械化講座 第85回 現場フォアマンのための土木と施工法

XVI. 機械化施工の安全指針

2. 修 理 作 業……………二 宮 嘉 弘 / 76

□新機種紹介

日立 T 12 および T 20 ブルドーザ……………佐々木 保 春 / 84

日立 C 5 パワーリーチ・クライミングクレーン……………玉 置 晋 司 / 85

日特 N 7 S トラクタショベル……………加 藤 聡 / 86

□建設機械化研究所抄報

試験研究報告 (No. 64)……………建設機械化研究所 / 87

□文献調査

全体工事量 6,000 万 yd³のアースダム建設工事……………調査部会 / 91
文献調査委員会

ニ ュ ー ズ……………(編 集 部) / 93

行 事 一 覧…………… / 95

編 集 後 記……………(丹 羽・斎 藤) / 96

◀表紙写真説明▶

GC 120 S

ディープディギングクラムシェル

油谷重工株式会社

本機は地中連続壁 DDC 工法に使用される油圧クラムシェルであり, DDC 工法とは, 掘削した土砂をそのまま運び上げ, 壁体を直接作ってゆく工法である。

GC 120 S 油圧掘削機をベースマシンとして, 油圧クラムシェルバケットをワイヤロープでつり下げ, 地下 30 m (最大 40 m) 掘削する。2,000 cc の低速大トルク油圧モータを用いたバケット巻上げ用ウィンチとフレキシブルホースの巻上げを行なうスプールドラムとはインターロックされており, ロープとホースは常に一定の張力を保ちながら掘削してゆく構造である。クラムシェルバケットはすべて Heavy duty type で, バケット幅は 0.45~0.8 m まで準備されている。バケットはシェルブッシュ形で, その掘削軌跡は硬土盤掘削に適し, 高性能を発揮する。

なお本機の特長は次のとおりである。

■衝撃掘削を必要としないので壁体をいためず, 大玉石が出てもバケットで容易につかみ上げられる。

■硬い砂利層, 土炭層, 粘土層でも壁中でもみほぐしができるから掘削が容易である。

■粘着性の強い土質でも, 強制エゼクタによって排出が容易で能率が下がらない。

■特許ディープディギングクラムシェルはベントナイト液中でも正確な掘削を行ない, 壁面の垂直, 均斉を保つことができる。

■汎用機械であるため, 大容量のバケットを用いてクラムシェル作業ができるから, 地下鉄等の土砂搬出ができる。